



第 60 期

# 中 間 報 告 書

日本興業株式会社

## 株 主 の 皆 様 へ



代表取締役社長

**多田 綾夫**

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このほど本年4月1日から9月30日までの当社グループ第60期第2四半期の営業概況がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

# 四半期連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末  
《平成26年9月30日現在》

単位 千円(単位未満切捨)

科目	金額	科目	金額
<b>( 資 産 の 部 )</b>		<b>( 負 債 の 部 )</b>	
<b>【 流 動 資 産 】</b>	6,264,162	<b>【 流 動 負 債 】</b>	7,154,204
現金及び預金	959,303	支払手形及び買掛金	1,784,791
受取手形及び売掛金	3,379,108	電子記録債務	436,864
電子記録債権	126,253	短期借入金	4,301,688
商品及び製品	1,354,729	未払法人税等	20,356
仕掛品	76,029	未払消費税等	34,086
未成工事支出金	9,339	未払費用	101,036
原材料及び貯蔵品	208,206	賞与引当金	92,242
繰延税金資産	91,278	その他	383,138
その他	68,167	<b>【 固 定 負 債 】</b>	1,115,595
貸倒引当金	△ 8,254	長期借入金	699,923
<b>【 固 定 資 産 】</b>	7,939,341	退職給付に係る負債	190,214
<b>有形固定資産</b>	7,123,383	その他	225,457
建物及び構築物(純額)	1,301,739	<b>負 債 合 計</b>	8,269,799
土地	4,914,600	<b>( 純 資 産 の 部 )</b>	
その他(純額)	907,043	<b>【 株 主 資 本 】</b>	5,802,778
<b>無形固定資産</b>	188,588	資本金	2,019,800
<b>投資その他の資産</b>	627,370	資本剰余金	2,016,609
投資有価証券	477,333	利益剰余金	1,840,580
繰延税金資産	57,499	自己株式	△ 74,211
その他	138,630	<b>【その他の包括利益累計額】</b>	130,926
貸倒引当金	△ 46,092	その他有価証券評価差額金	125,201
		退職給付に係る調整累計額	5,725
<b>資 産 合 計</b>	14,203,504	<b>純 資 産 合 計</b>	5,933,704
		<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	14,203,504

## 四半期連結損益計算書

当第2四半期連結累計期間  
《平成26年4月1日から平成26年9月30日まで》

単位 千円(単位未満切捨)

科目	金額	
売上高		4,876,531
売上原価		4,122,975
売上総利益		753,555
販売費及び一般管理費		846,068
営業損失(△)		△ 92,512
営業外収益		
受取配当金	5,464	
受取賃貸料	10,653	
工業所有権実施許諾料	10,877	
雑収入	19,721	46,716
営業外費用		
支払利息	17,716	
賃貸費用	4,204	
雑損失	3,297	25,219
経常損失(△)		△ 71,015
特別利益		
固定資産売却益		724
特別損失		
固定資産除却損		4,737
税金等調整前四半期純損失(△)		△ 75,028
法人税、住民税及び事業税	14,634	
法人税等調整額	△ 33,284	△ 18,650
少数株主損益調整前四半期純損失(△)		△ 56,377
四半期純損失(△)		△ 56,377

## 四半期連結包括利益計算書

当第2四半期連結累計期間  
《平成26年4月1日から平成26年9月30日まで》

単位 千円(単位未満切捨)

科目	金額
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△ 56,377
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	19,218
退職給付に係る調整額	△ 657
その他の包括利益合計	18,561
四半期包括利益	△ 37,816
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 37,816
少数株主に係る四半期包括利益	—

## ハイライト情報

連結経営指標等

単位 千円(単位未満切捨)

回次	第59期 第2四半期 連結累計期間	第60期 第2四半期 連結累計期間	第59期
会計期間	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 9月30日	自 平成26年 4月1日 至 平成26年 9月30日	自 平成25年 4月1日 至 平成26年 3月31日
売上高	4,718,498	4,876,531	12,686,191
うち 土木資材事業売上	2,588,008	2,954,885	7,289,592
うち 景観資材事業売上	1,476,095	1,302,863	3,977,587
うち エクステリア事業売上	654,394	618,781	1,419,011
経常利益又は経常損失(△)	△ 119,980	△ 71,015	341,848
四半期純損失(△)又は当期純利益	△ 84,634	△ 56,377	166,983
純資産額	5,759,925	5,933,704	6,014,064
総資産額	13,910,802	14,203,504	16,214,365
1株当たり純資産額 (円)	394.88	406.85	412.32
1株当たり四半期純損失(△) 又は当期純利益 (円)	△ 5.80	△ 3.87	11.45
自己資本比率 (%)	41.4	41.8	37.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	687,264	791,141	410,608
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 155,462	△ 84,181	△ 231,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 514,204	△ 642,755	△ 193,020
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	926,514	959,303	895,098
従業員数 (名)	299	296	292

## 事業紹介

当社グループはコンクリート二次製品の製造・販売を通じて「美しく豊かな環境作りに貢献する」ことを経営理念としており、「環境との共生」、「景観との調和」をキーワードに、土木資材事業、景観資材事業、エクステリア事業の3事業を展開しております。

### 土木資材事業 【環境との共生】

道路、河川、下水、宅地造成などにおける各種土木製品の開発、生態系を含めた環境製品開発、景観、緑化と融合した製品開発はもとより、防災・耐震性を考慮した製品開発へと展開しております。



製品名：4分割ボックスカルバート（岩手県宮古市）

#### 【第2四半期連結累計期間の状況】

道路を始めとするインフラの老朽化対策やメンテナンス事業の予算増大を背景に、側溝やガードレール基礎などの道路用製品が好調に推移したほか、東北地区の復興工事において大型ボックスカルバートなども売上に大きく貢献したことから、当セグメントの売上高は売上高は29億54百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

### 景観資材事業 【人にやさしい環境】

公園、ニュータウン、各種公共施設などに、舗装材を中心とする水平展開から、ファニチュアの垂直展開まで幅広く製品をコーディネートし、提供しております。

人と自然にやさしい空間づくりの提案、共感の得られる環境製品の提供と、次世代まで引き継がれる豊かな公共空間の創造に努めております。



製品名：バリアフリーペイブ透水、パールライン（岡山市）

#### 【第2四半期連結累計期間の状況】

主力の舗装材であるバリアフリータイプや透水・保水タイプの製品は、公共工事における入札不調に伴う発注遅延や人手不足などによる着工の遅れにより苦戦を強いられ、擬木・擬石などのファニチュア関連製品は堅調に推移したものの主力の舗装材の落ち込みをカバーするには至らず、当セグメントの売上高は13億2百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

## エクステリア事業 【快適空間】

街並みに調和する外構づくり。  
個性を演出するエクステリア。  
個人住宅から店舗用製品まで幅広いジャンルで製品を提供し、ガーデニング関連、ペット関連等新たなテーマを掲げ、快適な空間づくりを追求しております。

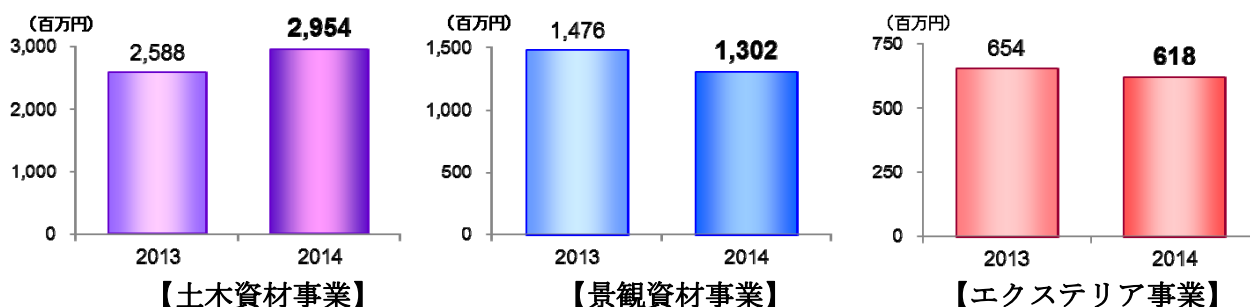


製品名：ニコータイル

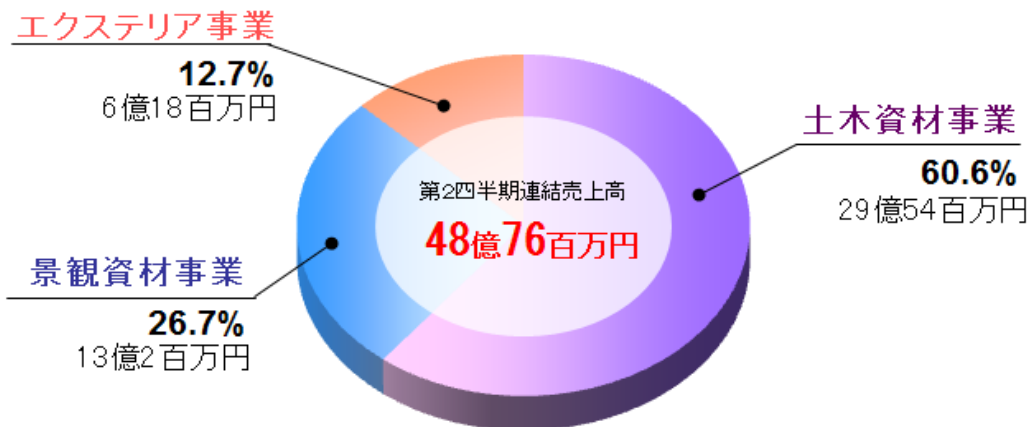
### 【第2四半期連結累計期間の状況】

主力の立水栓を始めとするガーデン関連製品は、品揃えを図りハウスメーカーへの販路が拡大したため堅調であったものの、その他の製品は、住宅関連市場における消費増税前の駆け込み需要の反動に伴う新設住宅着工戸数の減少や個人消費の落ち込みなどの影響を受け伸び悩んだことから、当セグメントの売上高は6億18百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

### セグメント別売上高の推移（連結・上半期）



### セグメント別売上高の構成（連結・上半期）



# 株式の状況

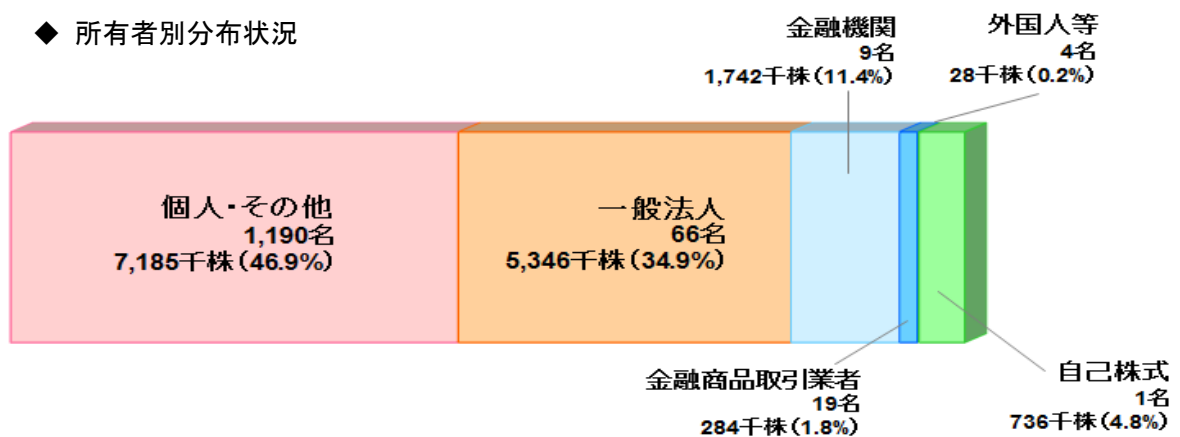
《平成 26 年 9 月 30 日現在》

発行可能株式総数	36,000,000 株
発行済株式総数	15,321,000 株 (自己株式 736,373 株を含む)
株主数	1,289 名

## ◆ 大株主

株主名	持株数 (千株)
積水樹脂株式会社	3,450
ニッコー共栄会	1,530
ニッコー持株会	653
宇部興産株式会社	556
株式会社伊予銀行	391
アサノ産業株式会社	361
中山 盛雄	336
河合 保明	317
株式会社香川銀行	262
株式会社商工組合中央金庫	216

## ◆ 所有者別分布状況





## 会社概要

《平成 26 年 9 月 30 日現在》

社名	日本興業株式会社
本店	香川県さぬき市志度 4614 番地 13 電話 087-894-8130 (代表)
ホームページ	<a href="http://www.nihon-kogyo.co.jp">http://www.nihon-kogyo.co.jp</a>
設立	昭和 31 年(1956 年)8 月 10 日
資本金	2,019,800,000 円
従業員数	242 名

## 役員

《平成 26 年 9 月 30 日現在》

### 《取締役・監査役》

※ 代表取締役社長	多田綾夫
取締役会長	武田均
※ 常務取締役	藤田諭
取締役	菊池友幸
※ 取締役	山口芳美
※ 取締役	田中澄夫
※ 取締役	川人秀昭
常勤監査役	佐田浩児
監査役	河原林隆
監査役	新名均

※印の取締役は、執行役員を兼務しております。

### 《執行役員》

執行役員	秋山修二	執行役員	久保淳
執行役員	乗松伴成	執行役員	金子弘朗
執行役員	小島謹治		

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会…… 3月31日 剰余金の配当……期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 <a href="http://www.nihon-kogyo.co.jp/koukoku.html">http://www.nihon-kogyo.co.jp/koukoku.html</a>
単元株式数	1,000株

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。